

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市荒町児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 23,732人 (前年度比 112.5%)</li> <li>・ 令和2年度 21,091人</li> <li>・ 令和元年度 30,232人</li> </ul>	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</li> </ul>	
5 収支の状況	《費用》	( )は前年度決算額	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 43,602千円 (44,357千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</li> </ul>		
	《収入》		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 (0千円)</li> </ul>		
6 利用者の声	《実施状況》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。</li> </ul>		

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や「回文団扇」をはじめとする様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、子どもたちが心身ともに落ち着ける、安心・安全な居場所となるように努めました。商店街の貴重な地域資源を活用した取り組みや保護者・学校・商店街等の強固な連携を強みに地域一丸となった子育て支援事業を行い、より良い児童館運営に努めました。</p> <p>○児童健全育成事業 商店街のお店の方を講師に招いて「味噌作り教室」や「クリスマスリース作り」を開催し、貴重な体験・経験から沢山の発見や学びの場となるように努めました。当団体共催「田んぼの楽校」では登米での自然体験から五感を育み、遊びを通した育ちを大切に、親子の時間や心身の癒しの時間に役立てました。○子育て家庭支援事業 子育て支援室として環境整備をし、年間登録制の幼児クラブ「あらまちっこ組」を月に1回、季節に沿った行事を開催し子どもの好奇心や向上心を高め、親子で楽しむ工夫をしました。また、専門の講師を招いて「バランスボール」「ベビーマッサージ」では親子の居場所として交流を深めました。○地域交流推進事業 16団体・機関が連携して「荒町子まもり防犯プロジェクト」を開催しました。地域の防犯意識を高めるために防犯教室・実施訓練等様々な取り組みを行い、人の顔が見える安心・安全な笑顔を溢れる町づくりに努めました。また、3年継続して小学校で「回文図扇作り授業」を地域の方々と開催し、荒町の歴史文化を知り郷土愛を育む取り組みを行いました。○放課後児童健全育成事業 集団遊びや各学年に沿った工作やボランティアの学生と「英語であそぼう」・「スライム作り」等で交流を深め楽しみました。また、高学年のリーダーシップが発揮できる場として自ら企画をしたスポーツ大会等を通した異年齢交流は児童館だからこそできる活動を取り組みました。参加・参画から自己実現やコミュニケーション能力の構築等、子ども達のより良い居場所となる環境作りに努めました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、継続している「田んぼの学校」、新たに身近な自然体験の機会とした「秋の散策！ in 野草園」を実施した。身近な自然に触れ興味関心を広げながら食育活動や自分たちの住んでいる地域への理解、季節の行事など多岐に渡った学びを得る活動となっている。中高生への支援として、地域のなかに運営団体が立ち上げた「みんなのベース」を活用して、小学生との交流や居場所作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブやベビーマッサージ、バランスボール、おはなしクラブなどを定期的に開催し、乳幼児への遊びや季節の行事、保護者のリフレッシュの時間を提供した。また、プレママ対象の「フォトブックを作ろう」を実施し、妊娠期からの継続した支援に取り組んでいる。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域先生の指導のもとで「味噌作り」「クリスマスリース作り」「ずんだ作り」を行った。商店街の中の児童館という地域力を生かし、児童館が中心となって連携した協力体制のもとで充実した事業を展開しており、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている点が評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、異年齢と関わる機会を取り入れたり、「スポーツ大会」「夏祭り」など年齢にかかわらず自ら企画・運営するなど自己実現できる支援を行い、自主性や社会性を育てている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課